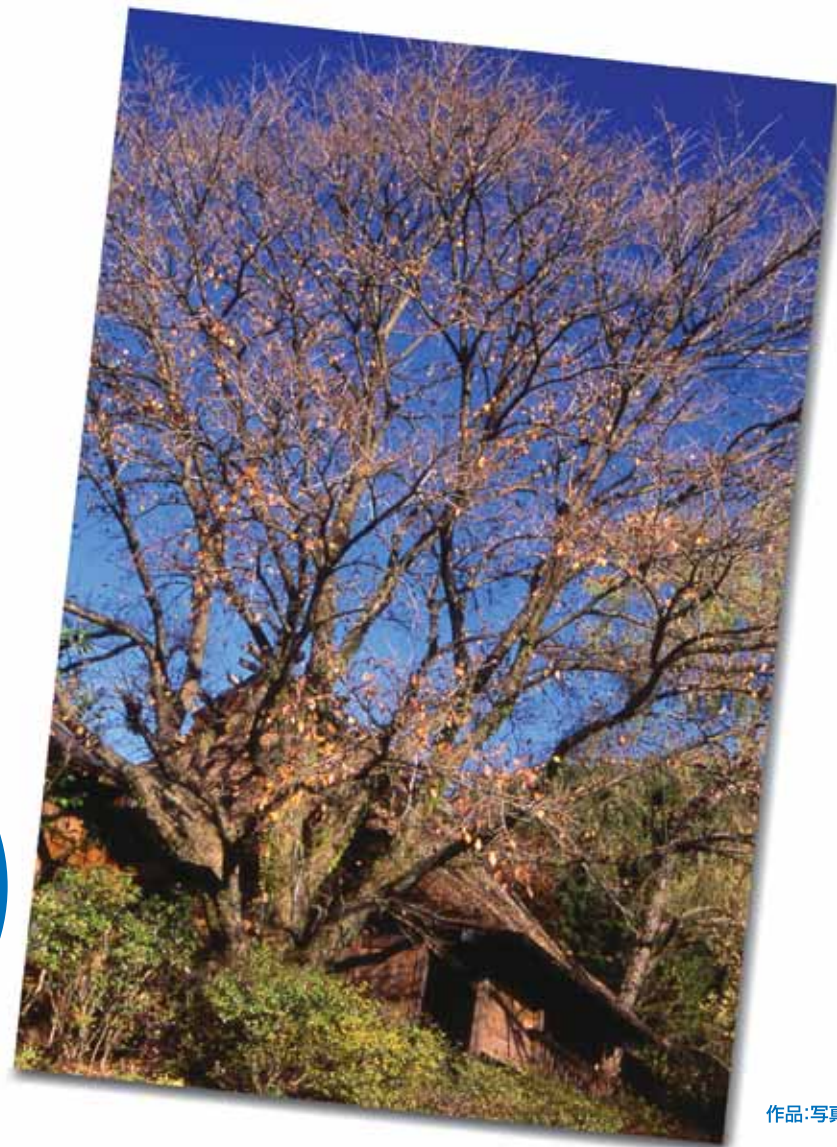


# いち・にの・さんしん

原三信病院 広報誌 October 2003 No.5



(財)日本  
医療機能評価  
機構認定病院



作品:写真部提供(平原俊吾「秋空」)

病院理念  
病人のための病院

病院基本方針  
一、質の高い医療  
一、居心地の良い環境  
一、心のもったサービス



## わが町のホームドクター

ホームドクターのご紹介をさせていただきます。私たちは、地域の先生方と協力して皆様のお役に立つよう努めています。どんなことでもホームドクターにご相談ください。

**施設名** 山本外科医院

**登録医** 山本 一清

**住所** 福岡市博多区吉塚2-7-27

**電話番号** 092-621-3297

**診療科** 外科・整形外科・リハビリテーション科

**診療日** 月～土(土AMのみ)

**施設名** 木梨整形外科医院

**登録医** 木梨 博史

**住所** 福岡市博多区下川端町9-18

**電話番号** 092-291-6828

**診療科** 整形外科

**診療日** 月～土(水AMのみ)

**施設名** 平野内科医院

**登録医** 平野 壽人

**住所** 福岡市博多区東光2丁目6-6 第3フジクラビル1F

**電話番号** 092-472-1818

**診療科** 内科

**診療日** 月～土(土AMのみ)

**施設名** 森永整形外科クリニック

**登録医** 森永 政博

**住所** 福岡市博多区博多駅前2-3-7 サンエビル2F

**電話番号** 092-475-0468

**診療科** 整形外科・リウマチ科・リハビリテーション科

**診療日** 月～土(土AMのみ)

**施設名** 益田クリニック

**登録医** 益田 龍彦

**住所** 福岡市博多区博多駅前2-2-1 福岡センタービル5F

**電話番号** 092-414-6813

**診療科** 内科・消化器科

**診療日** 月～土(水土AMのみ)

**施設名** 大原内科クリニック

**登録医** 大原 明彦

**住所** 福岡市中央区天神1丁目1-1 アクロス福岡ビル4F

**電話番号** 092-737-8778

**診療科** 内科・胃腸科

**診療日** 月～金

※ここでご紹介する先生方は、当院の開放型病院制度(医院・クリニックの医師が当院において共同で診療ができる)の登録医になって頂いている先生です。

### 今後の医療の在り方

江口 徹

二十一世紀は、国際化、情報化、環境問題など、社会を取り巻く状況が大きく変化しているうえ、さらに日本では、これまで世界で経験したことのない急速な人口の少子高齢化を迎えている。このような中、高齢化や医療の高度化による医療費の増加とそれに反する経済の後退といった厳しい条件下に医療は置かれている。

これからは、安心で良質な医療の供給体制を確保することが、将来への強い不安感が充満している社会において、大きな心の拠りどころとなっていくと思われる。医療従事者は、幅広い視野に立ち、人間性豊かな、そして生命の尊厳に十分配慮した医療を行う必要がある。大きな財政赤字をかかえ、経済的な裏打ちのない政府、厚生労働省におもねったり、首尾一貫しない政策に振り回されたりせずに、私たちは、患者様の望む医療、患者様に望まれる病院を目指した医療を行い、患者様の信頼にこたえて行きたい。

その第一歩は、あらゆる情報を病院と患者様が共有する、共有できることから始まると思われる。この「いちにのさんしん」がそのような役目を果たせるよう、皆様方に育って頂きたい。



救急指定  
**原三信病院**  
(財)日本医療機能評価機構認定病院

福岡市博多区大博町1-8

TEL ■ 092(291)3434  
FAX ■ 092(291)3424  
E-mail ■ info@harasanshin.or.jp

http://www.harasanshin.or.jp

**診療時間**  
月～金曜日 9:00～13:00 14:00～17:00  
土曜日 9:00～13:00  
※日・祝日および8月15日・12月31日～1月3日はお休みです。但し、急患の患者様は、救急外来にて診察いたします。

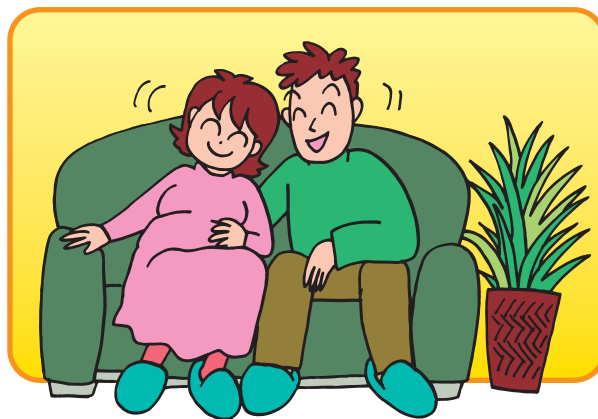
**診療科目**  
総合診療科・循環器科・消化器科・呼吸器科・感染症免疫科・糖尿病科・血液内科・腎臓内科・外科・整形外科・脳神経外科・泌尿器科・産婦人科・放射線科・麻酔科・臨床病理科・歯科・人間ドック

# 病院にゆ〜す

## 男性不妊について

1〜2年間の通常の夫婦生活があるにもかかわらず子供ができない場合を不妊症と診断します。原因は多岐に渡り、半数が男性に原因があるとされています。男性不妊専門外来は全国的にも少なく当院では1986年に開設して以来、年間300人以上の方が受診しています。検査は婦人科と異なり比較的短期間で済みます。仕事が忙しく病院に行く時間が制限される年代の疾患で、本来は健康で自覚症状を伴わない一般的な疾患と次元が異なる特殊な疾患です。

当院ではそれを考慮し、来院される患者のアーメンティーを重視したシステムで運用しています。初診日の指定はありません。3日以上の禁欲をおき月曜〜土曜日に11時までに来院していただき診察、精液検査、採血、精巢の超音波検査を行い、後日予約を取って時間をかけて治療に關して説明いたします。特に精液検査は、当院に隣接したビジネスホテルの個室を無料で提供して使用しています。精液検査は2回行います。男性不妊症は、表のごとく5つに分類されます。最も多いのは、造精機能障害で全体の70%を占めています。乏精子症は精索静脈瘤の治療または薬物療法をおこないます。不妊治療手術のほとんどは日帰り手術センターで行います。当院では婦人科と連携して顕微授精を前提とした無精子症の治療ができます。



不妊症の原因の8割は原因が明確になります。原因をベースに、可能な限り自然妊娠できる方法を検討いたします。

疾患分類	病態	治療法
造精機能障害 (精巢原発性臓器障害)	乏精子症、精子無力症 精子壊死症、無精子症	精索静脈瘤の治療 薬物療法
精路閉塞症 (精路通過障害)	閉塞性無精子症	精路再建術 精子採取術
精路感染症	クラミジア感染症など	抗生剤投与
射精障害	脊損、糖尿病などによる 神経障害	精子採取術、 膀胱内精子回収法
性機能障害 (ED)		バイアグラなど

泌尿器科部長 小松 潔



## 日帰り手術 センターだより

〜整形外科編〜

当院では「日帰り手術センター」の開設以来、泌尿器科、外科、循環器科などを中心に数多くの患者様に「日帰り」治療を行ってきています。整形外科でも当初より積極的に利用するように取り組んでまいりましたが、症例数はそれほど多いものではありません。その原因としては、元々骨折などのある一定期間の入院を要する症例が多い、ということだろうと思います。しかし、上肢の手術や関節鏡の一部など内容によっては十分「日帰り手術」で対応できるものもあります。

「日帰り手術」のメリットは、病院に拘束される時間が短く、また、コストを踏まえ、患者様のニーズに合わせて積極的に活用していきたいと考えています。

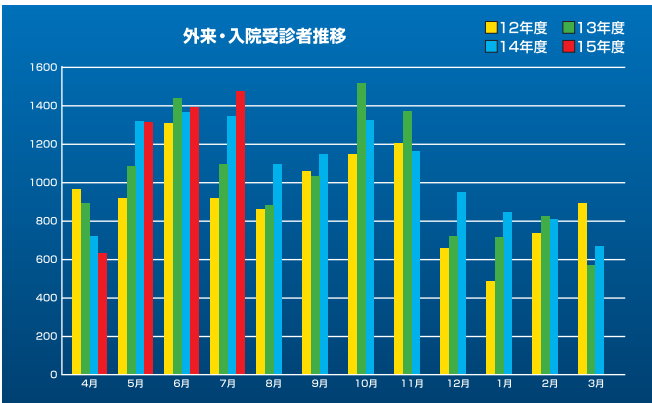
整形外科でも今後このようなメリットを踏まえ、患者様のニーズに合わせて積極的に活用していきたいと考えています。

整形外科部長 高畠 一雄



## 職場紹介コーナー 健康管理センター編

当健康管理センターは、1泊ドック、日帰りドックを中心に1年間に約1万1千人の方にご利用いただいております。従来は企業健診が主でありましたが、健康志向が高まる昨今では、個人での受診者も増加してきています。当センターは早期発見、早期治療を主目的とし、胃検診では、胃X線検査または胃内視鏡検査の選択制としており、大腸は主にバリウムによるX線検査を行っています。



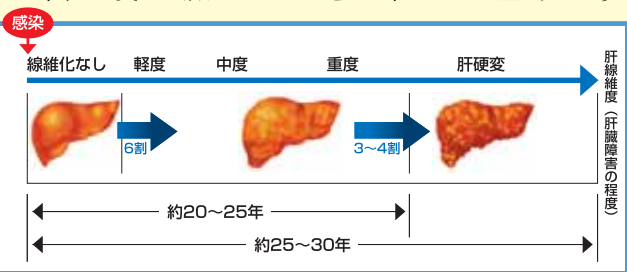
健康管理センター長 中山 卓

## 医学雑学講座 肝臓について

肝臓が悪くなる原因は主に3つあります。1番目がウイルス、2番目がアルコール、3番目が薬や脂肪肝などです。このうち最も注意が必要なのはウイルス性の肝炎です。ウイルス性肝炎は気づかないうちに進行していることがあり、放置すると何割かの方は肝硬変や肝臓癌になっていきます。

最近ではウイルスを減らしたり肝臓を守ったりする薬が色々登場しており、それらを使うことで肝硬変や肝臓癌を防ぐことができます。そのためには専門医の元での定期的な受診が欠かせません。まず自分がウイルスを持っていないかどうかをチェックしましょう。輸血を受けたことがある方、手術や交通事故にあつたことがある方、家族に肝臓病の患者様がいらっしゃる方は特に1度はウイルスの検査を受けておきましょう。

当院では受診当日に肝炎の原因となるウイルスを調べることができ、ウイルスがいると判ればすぐに超音波などの詳しい検査を行うことができます。肝臓は非常におとなしい臓器です。症状が出ないからと放置しないで早めの検査を心がけてください。

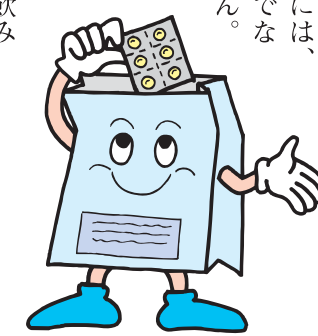


内科医長 杉本 理恵



## 薬のQ&A知識 薬は水なしで飲んでも大丈夫?

薬が吸収されるには、薬が溶けた状態であればなりません。水が無ければ溶けにくいので吸収が遅れ、効果が現れにくくなってしまいます。水には飲みやすくするという役目もあります。錠剤やカプセル錠を水なしで飲むと、食道に引っかかり、その場で溶け出して食道潰瘍を起こすことがあります。粉薬などは、気管から肺に入って肺炎を起こすこともあります。(最近では、水なしで飲む口腔崩壊錠があります) 一般には水の量が多いほど薬は溶けやすくなります。また、水は胃を刺激して胃の運動を高め、薬を早く小腸へ移動させる役目もしています。水分を制限されている時以外は、コップ1杯(100〜180ml)程度で薬を飲むことが良いでしょう。

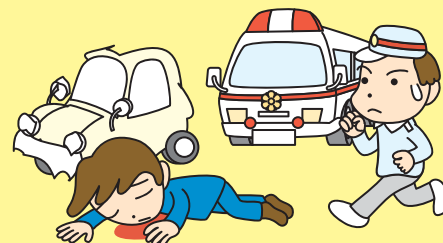


薬剤科 大久保 雅弘

## 編集後記

今年例年になく長梅雨、冷夏さらに、益過ぎからの猛暑と不順な気候が続いています。このような時は体調を崩しがちです。健康管理には一層の注意を払ってください。また、この広報誌への御意見、御要望は院内投書箱、Eメールなどでお寄せください。皆様の声をお聞きして、さらに充実した紙面づくりに努めてまいります。

広報委員会 委員長 原 直彦



- 当院は、救急指定病院です。急患の患者様は救急外来にて**24時間365日診察**を行っています。
- 当院では医療機関の機能分担と地域連携を推進しています。従いまして、現在他の医療機関に受診中の方は**紹介状**をご持参下さいませようご協力お願いします。